**新・松本市立博物館（基幹博物館）に関するサウンディング型市場調査
質問書への回答**

質問	回答
（１）指定管理料の設定について「併用方式」とはどのようなケースを想定しているのか。	利用者からの利用料を自らの収入として収受する「利用料金制」に加えて、委託料を固定収入とするケースを想定しています。
（２）指定管理者に与えられるインセンティブについて、どのような想定をしているのか。	<p>自主事業、報奨金制度、指定期間の特例延長のほか、社会教育施設である博物館としてふさわしいインセンティブのあり方を検討しています。</p> <p>サウンディング型市場調査を通じて、事業者様の様々なご意見やアイデアをお聞かせいただきたいと考えています。</p>
（３）建物に出入りが可能となる時期、指定管理者の公募・議決の時期等についてご教示いただきたい。	<p>仮に指定管理者制度を開館当初から導入する場合は、公募・選定を令和４年４月～７月の間で実施し、９月議会での議決を予定しています。また、開館半年前には事前準備業務期間を設けて、指定管理者が建物へ出入り可能となるよう検討しています。</p>
（４）収支については、算出するため詳細資料、条件、時間が不足しているため、超概算となるがよいか。	<p>本調査は幅広くアイデアを募集し、新・松本市立博物館の市場性の有無などを確認するもので、アイデアの実現性・継続性のイメージがある程度つかめる概算であれば問題ありません。</p>